



# 仙台市役所 ✧ しごとセミナー

## Self-introduction

職 種

社会人経験者・事務

採用年度

令和5年度

所 属

環境局脱炭素都市推進部  
脱炭素政策課



## 出身

福島県会津坂下町

## 経歴①

平成25年 大学卒業

## 経歴②

平成25年 福島県内の自治体に入庁(令和5年3月退職)

## 経歴③

令和5年 仙台市入庁 こども若者局  
こども支援給付課に配属

## 経歴④

令和7年 環境局脱炭素政策課に異動



## なぜ公務員を目指したのか？

- まちづくりに関わる仕事に携わりたいと思ったため
- 公務員という仕事が身近だったため

## なぜ仙台市に入庁したのか？

- 都市機能と自然が調和していて、住みやすいイメージがあったため
- 地域住民と距離の近い身近な仕事から規模の大きい仕事まで幅広く挑戦してみたいと思ったため



## 環境局脱炭素政策課

2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガスの排出量削減を目指し、家庭向けの脱炭素化を支援している。

## 担当業務

省エネ住宅・再エネ設備の普及に取り組んでいる。

▶高断熱住宅普及促進事業

▶新築建築物への太陽光発電等導入促進 等



高断熱住宅 座学研修

## SNSによる発信





## 大変だったこと

- ▶初めて携わる分野だったため、専門知識が不足していたこと。
- ▶頻繁に法令等が改正されるため、情報収集のアンテナを高くする必要がある。

## 仕事のやりがい

- ▶官民連携しながら課題解決に取り組めること。
- ▶暮らしを快適にしながら環境負荷を減らすことに寄与できること。



## ギャップ①

ルーティンワークの業務は少ない。

自席で黙々とする事務作業は意外と少なく、イレギュラーな出来事も多く起こるので、柔軟な対応が求められる。業務の大部分は庁内外とのコミュニケーションと言っても過言ではない。

## ギャップ②

思ったよりアナログ>デジタルと感じた。

しかし今年度からは業務の効率化やペーパーレス化がどんどん進み、働き方がアナログからデジタルにシフトしてきています！

## 5 ある1日のスケジュール

AM

8:30

出勤・メール確認

10:30

課内打合せ

9:00

打合せ資料作成

11:00

委託業者打合せ

PM

12:00

お昼休憩

15:00

現地確認

13:00

広報物作成

17:15

退勤



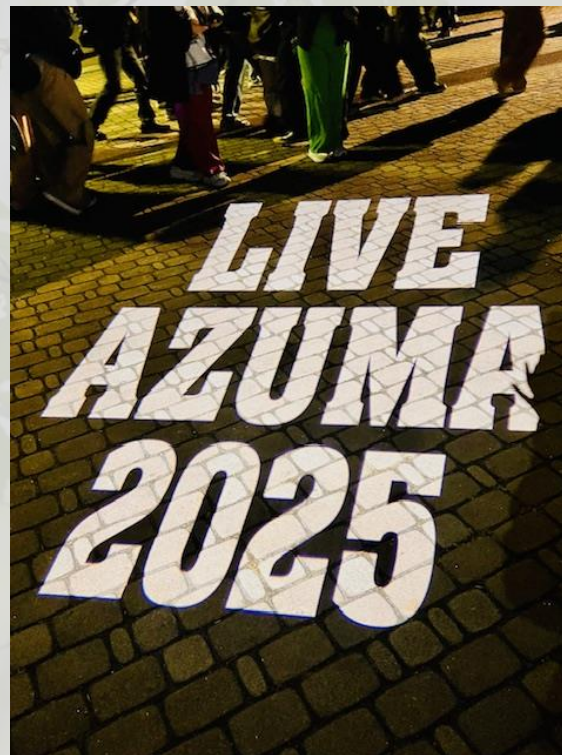
## 6 ワーク・ライフ・バランス

取得した休暇制度など  
年次有給休暇、夏季休暇

### 休日の過ごし方

- ◇新しいお店の開拓
- ◇ライブ参戦
- ◇旅行 etc

週末のうち、1日は家でのにんびり、1日は外に出てリフレッシュしたりしています^^





## 様々な職種の人たちが活躍

多様な知識や経験、価値観をもつ同僚や先輩方がたくさんいて、日々刺激を受けながら働くことができる。

## 多岐にわたる業務

異動のたびに業務内容もガラリと変わるので、大変な面もあるが、幅広い業務に携わることができ、視野が広がる。



## 前職との違い

前職の自治体よりも部署数が多く、業務がより細分化されている。その分、関係部署への確認や調整に時間を要することもあるので、余裕を持ったスケジュール管理が重要。

## 前職の経験で役に立ったこと

- ▶自治体特有の業務フロー等の把握
- ▶他部署や外部機関との調整経験



公務員の仕事ひとつひとつが市民の生活を支える、非常にやりがいのある仕事です。

住みやすいまちづくりに向けて、職員一丸となって日々奮闘していますので、その一員に加わっていただくと大変嬉しいです^^  
一緒に仙台市をさらに前進させていきましょう！